

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	日中安全衛生プラットフォーム事業		担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度開始		担当課室	計画課		高崎 真一			
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	-					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第11次労働災害防止計画					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中国は、日本最大の貿易相手国で、進出企業数も世界第一位であるが、安全衛生水準は低く、規制・監督体制も不十分なため、我が国では使用等が禁止されている有害物質を含有する製品が中国から輸入され、日本国内で発見されるという事案が発生し、我が国の安全衛生にも影響を及ぼしている。このため、定期的に中国側関係当局と協議・意見交換を行う場を設け、両国間で相互に影響を及ぼす安全衛生に係る問題について、規制・制度改善を含む中長期的な視点から意見交換を行う。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	年に1度、日中間で局長級をトップとする政策対話を実施する。政策対話においては、双方の安全衛生政策に関する情報交換・意見交換、日中間で生じている事案についての協議等を行う。また、この対話を通じ、日中双方で問題事案が発生した場合に相互連絡を取りあう体制を構築する。また、政策対話の実施に併せて、専門家も交えて安全衛生をテーマとするシンポジウムを開催する。その中で、中国の政策立案に役立つ知識・ノウハウについても紹介する。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
		当初予算	—	—	—	9.7	9.6		
		補正予算	—	—	—	0			
		繰越し等	—	—	—	0			
	計	—	—	—	9.7				
	執行額	—	—	—					
	執行率 (%)	—	—	—					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	労働安全衛生シンポジウムの参加者を100名以上とする。		成果実績		—	—	—	-	
			達成度	%	—	—	—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	政策対話及びシンポジウムの開催回数		活動実績 (当初見込み)		—	—	—	—	
単位当たりコスト	4,791,000(円/回)		算出根拠	政策対話・シンポジウムは1回実施することになっているため、単位当たりコストは、実施に要する費用で表す。					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	委託費	4.8	4.7						
	行政経費	4.9	4.9						
	計	9.715	9.632						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	中国と労働安全衛生に係る情報交流が目的であり、国が実施すべき事業
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	企画競争入札により支出先を決定 費目・使途はシンポジウムの開催にかかる経費のみ支出を認めることとしている。 なお、シンポジウムは11月開催予定であり、経費にかかる実績報告はまだない。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	シンポジウムは11月開催予定であり、活動実績等はまだない。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	シンポジウム11月開催予定であり、活動実績等はまだないため、現時点ではすべての項目について点検はできていないが、適正な執行に向けて委託事業の適正管理を行うこととする。		
予算監視・効率化チームの所見			
	日中政府間で安全衛生分野の長期的な協力を構築するための経費であることから、必要な予算措置に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	－		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	937

※平成23年度実績を記入

24年度新規事業であるため23年度の実績無し

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					